

再生可能エネルギーに関する連携協定自治体・岩手県ひるのちよう洋野町を感じられる
「いわて洋野町と横浜の絆フェス in 横浜・八景島シーパラダイス」を開催します！

横浜市は、2050年までの脱炭素化の実現に向けて再生可能エネルギー（以下、「再エネ」という。）の普及拡大に取り組んでおり、これまでに再エネ資源を豊富に有する市町村と連携協定を締結しています。連携協定では、脱炭素化の推進に関する自治体間のつながりをきっかけとした相互の地域活力の創出に関することについても連携することとしています。

このたび、連携協定を締結している岩手県洋野町主催の「いわて洋野町と横浜の絆フェス in 横浜・八景島シーパラダイス」を開催します。当イベントでは、横浜市も共催し、洋野町の南部ダイバーと北限の海女による水中パフォーマンスや特産品の紹介をします。

1 「いわて洋野町と横浜の絆フェス in 横浜・八景島シーパラダイス」について

日時：令和7年1月11日（土）～13日（月・祝）

開始：11:00 終了：15:30

場所：横浜・八景島シーパラダイス（横浜市金沢区八景島）

内容：特産品販売、観光PRブース出展

主催：岩手県洋野町

共催：横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局

株式会社横浜八景島

主な内容

・南部ダイバーによる水中パフォーマンス

パフォーマンス実施場所：ドルフィン ファンタジー 円柱水槽

パフォーマンス実施時間：11:30、13:00、15:00 の各10分程度（3日間開催）

NHK 朝の連続テレビ小説「あまちゃん」に登場しました「南部ダイバー^{※1}」が、地元でも中々見ることができないウニ漁や水中移動などの潜水技術を披露します。また、各日1回限定で「北限の海女^{※2}」も登場します。

※1 南部ダイバー（南部もぐり）

洋野町発祥の約120年の歴史を持つヘルメット式潜水技術。町内にある岩手県立種市高等学校には、南部もぐりの潜水技術や水中土木などを学べる学科があり、卒業生は全国の港湾工事で活躍しています。

※2 北限の海女

洋野町の南隣に位置する久慈市の小袖海岸で活躍する海女の総称で、主にウニやアワビ、ワカメなどを素潜りで採っています。かすり半纏に白のショートパンツが伝統の衣装です。

裏面あり



南部ダイバーによる水中パフォーマンスの様子



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



- ・特産品の販売
三陸産のわかめ詰め放題のほか、洋野町の特産品を販売します。
- ・観光パンフレット等の配布PR
- ・再エネの活用を通じた連携による取組 PR



2 洋野町について

人口:14,768人 世帯数:6,779 世帯
(令和6年10月末日現在)

面積:およそ 302.92 km²

概要:岩手県の北東部に位置する洋野町は、西部高原地域と太平洋に面する東部海岸地域に大別され、沿岸部ではウニ、アワビなどの磯漁業が盛んに行われ、陸側では酪農などの畜産業が基幹産業となっています。また、海に面した

種市地区は、昔ながらのヘルメット式潜水を今に受け継ぐ伝統の潜水技術“南部もぐり”発祥の地です。町内には、太陽光発電や風力発電など豊かな地域資源を活用した再エネ発電所が複数稼働し、再エネによる地域の活性化に取り組んでいます。



洋野町位置図



種市電工株式会社
洋野町種市メガソーラー発電所

3 洋野町について

横浜市の再エネの創出ポテンシャルは 2050 年の市内の電力消費量の約 10%と試算され、再エネへ転換するためには、市域外からの供給が必要不可欠です。2050 年までの脱炭素社会の実現に向け、再エネ資源を豊富に有する 16 市町村と、再エネの創出・導入・利用拡大、相互の地域活力の創出等の分野において連携協定を締結しています。



お問合せ先

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局カーボンニュートラル事業推進課長 松下 功 Tel 045-671-2636



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

